

令和5年度第1回川口市文化芸術審議会 会議録

日 時 令和5年5月9日（火）15時～17時

場 所 川口市立幸栄公民館 会議室1号

出席者（委員） 原田会長 丸山副会長

寺久保委員 山下委員 川田委員 鈴木委員 伊藤委員

宇田川委員 青木委員 望月委員 大西委員 齋藤委員

（事務局） 石坂市民生活部長 藤田文化推進室長 菅井室長補佐 茂木主任

議事録

1 開 会

2 会長挨拶

3 部長挨拶

4 諮問

5 報告

・報告（1）川口市立アートギャラリーの事業活動について

【説明】（事務局より説明）

【質疑・意見】

（委員）前年度に比べ来館者集は増加しているのか。

（事務局）昨年度3月の審議会の資料に正確な数字が加わったものが本資料である。

（事務局）コロナ禍であった令和2年度・3年度に比べると伸びているが、総来館者数が5万人を超えた元年度に比べると4年度は少ない。令和5年度からは上がっていくものと考えている。

6 議事

・議事（1）川口市文化芸術基本計画の改定について

【説明】（事務局より説明）

【質疑・意見】

（委員）川口市文化芸術振興条例を意識して改定されたということか。

（事務局）現行の計画を意識して作られたものだが、今回の改定は基本理念の5つのうち即したものはそのまま項目立てすることも考えられる。

（委員）5つの基本構想は条例に基づいて作られたということか。

（事務局）そのとおりである。

（委員）国の文化芸術基本法が制定されたが、国が制定したものでは具体的な市民の活動にながっていない。本計画では市が主体的にやっていくという姿勢が感じられる。川口らしさが出ていてよい。

（委員）改定計画の位置づけについて、教育委員会から市民生活部に変更になったというのは、教育の路線と市民生活部の路線と2本が残る形になる。2つが残る理由を伺いたい。

(事務局) 基本計画の位置づけは資料の通りである。教育的要素が強いが、市長部局に移ったことにより、教育以外の文化の施策を計画に落とし込み、文化芸術基本計画の位置づけとしたい。

(会長) 文化推進室が市長部局に移ったことにより、市全体で文化芸術に取り組む姿勢が見える。方向性は資料のとおりでよいか。

(委員) 異議なし。

・議事(2) 川口駅西口周辺文化芸術拠点の活用について

【説明】 (事務局より説明)

【質疑・意見】

(委員) 新しい美術館の構造はわかるのか。

(事務局) 令和4年の時点で設計の素案はできているが、文化推進室は建設の担当ではないため、担当部署に確認を取り今後情報を共有したい。

(委員) 本審議会は建設場所の確認をするものなのか。また、展示室の配置や搬入経路など設計に対して今後意見をすることはできるのか。

(事務局) リリア、新美術館、西公園を含んだ川口駅西口周辺の文化芸術拠点の活用方法を議論いただきたい。具体的な設計について等は所管の部署と調整させていただきたい。

(委員) リリアの改修はどこを直すのか。

(事務局) 32年経過し空調設備や電気設備が限界にきているため改修を行う。

(副会長) 駅周辺の活用という観点では、駅の通路の老朽化が気になるので新しくしてほしい。美術館においては、地域で活躍した芸術家が子供たちに教えるなど、教育の拠点として機能してほしい。

(事務局) 川口駅は歴史があり、駅舎の建て替えなどは担当部署と検討したい。駅から美術館にどのように人を招くか、その導線の検討が必要である。美術館・リリアを含めて文化芸術拠点の活用として盛り込んでいきたい。

(事務局) 部局の違いは関係なく、ご意見をいただきたい。どういう改修計画なのか、共有しなければ審議はできないと考えている。

(会長) 赤羽駅の改修にかかわったが、JR東日本から北区役所に照会がきたため、希望を伝えたらJR東日本が採用してくれた。市長から駅舎の改修についてJR東日本に要望してほしい。

(事務局) 川口駅前という特徴、集客につながる。希望があった旨は伝えたい。引き続きご意見をいただきたい。

(委員) そごうについて伺いたい。

(事務局) そごうについてはまだ何も決まっていない。地権者やテナントの問題があり、方向性が決まるのに数年かかると考えている。

(委員) 演奏会等でリリアを利用した後、打ち上げをする会場がないという声を聞く。西口周辺は東口に比べ飲食店が少なく、東口側の店舗を利用せずに他の駅へ行ってしまうこと

が多く、人が多く訪れているのに勿体なく感じる。西口周辺も飲食店を誘致してほしい。

(事務局) リリアの改修の際に、可能な範囲にはなってしまうがリリアやその周辺に飲食店が誘致したいと考えている。美術館にはカフェの設置が計画されており、相互利用につながればと考えている。

(委員) 市民団体が活動しているが、リリアは市内優先利用がないため抽選により外れてしまうことが多い。改修工事に入るが、工事期間中に使える施設がない。どこに訴えればよいかわからない。

(委員) リリアの改修工事をする事自体の周知が不足していると感じる。

(事務局) 駅前であり利便性が高く、芸能関係者のイベントなどは市外利用者が多いと思われる。市民が会場を使えないという話は多く耳にする。税金を投入しての改修になるので、市民にどう還元していくかは大きな課題であると考えている。広報が不足していた点については申し訳なく思っている。

(会長) 港区の公共施設も港区民が使えない状況は多い。新たに文化推進室の所管となることなので、市民の声を受け止め運用方法の改善を検討いただきたい。

(委員) 文化芸術活動拠点というのは、アトリアや旧田中家住宅も含まれるのか。教育活動の拠点として新美術館とアトリアは役割が異なると思うが、そこには触れるのか。

(事務局) 基本的には西口エリアを考えている。議論の延長でアトリア・旧田中家住宅に触れることは考えられる。

(委員) 昨年共有されたアンケートでは、埼玉高速鉄道から JR への移動が不便であるという意見が多く見受けられた。直通バスの運行など検討してほしい。

(委員) 川口駅周辺から川口ハイウェイオアシスへのアクセスもだが、市内でも車がないといけな場所も多いのでバスがあるとよい。

(事務局) 駅と地方について、駅周辺に施設が集中してしまっている。地方の文化芸術活動については、文化推進室の事業の市民コンサートなどは地方での実施を主にしている。川口駅周辺から赤山へのアクセスが良くない現状はある。今後の課題としたい。

(会長) 基本計画の議論と川口駅西口周辺の文化芸術拠点活用についての議論の2本をこの審議会で検討しなければならない。基本計画はこれまでどおり審議会の中で進めたいが、拠点活用については審議会全員での進行は困難と考えている。皆様の同意が得られるようなら、拠点活用は専門家による作業部会を新たに組織し、コンサルタント会社を入れて検討した結果を審議会に報告し議論を詰めていきたい。また、作業部会の人選については会長に一任してほしい。

(委員) 了承。

7 その他

なし

8 閉会